

## 第6学年 音楽科 学習指導案

## 本時の主張

前時では、「ボレロ」(モーリス・ラヴェル作曲)の全体を聴き、ボレロのリズムにのせて2つの旋律主題(旋律主題Aと旋律主題B)を繰り返すことによって楽曲が構成されていることを聴き取っている。児童は、旋律主題Aと旋律主題Bを2回ずつ交互に延々と繰り返すことや、主題が18回も続くことを知り、「2つの旋律主題を繰り返すだけなのに、なぜ人気がある曲なのだろう。」や「人気の秘密は何だろう。」という疑問をもっている。

そこで本時のねらいを達成するために、次の3つの手立てを講じる。

- ① 旋律主題A(18主題ある中の、主題1・主題9・主題13・主題17を使用する。)を取り出して聴かせ、音色や楽器の組み合わせによる響きの違いに気付かせる。
- ② 音色や楽器の組み合わせによる響きについて、自分の感じたことを言葉に表せるようにワークシートの工夫をしたり、グループの友達と感じたことを伝え合うための教具の工夫をしたりして、感じたことを共有できるようにする。
- ③ 演奏映像を見ることを通して、どの楽器が演奏しているのか確かめ、音色や楽器の組み合わせによる響きの気付きを確かにする。

これら3つの手立てにより、児童は、音色やオーケストラの楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴き、「ボレロ」の人気の秘密に気付くことができる。

## 1 題材名 いろいろな音の響きを味わおう

教材曲 「ボレロ」モーリス・ラヴェル作曲(鑑賞)

演奏 フランス国立管弦楽団

指揮 エリアフ・インバル

「コンドルは飛んで行く」ダニエル・アロミアス・ロブレス作曲(器楽)

## 2 題材の目標

- 楽器の音色や、楽器の組み合わせから生まれる響きの美しさを味わって聴くことができる。
- 楽器の特徴を生かして全体の響きを味わって演奏することができる。

## 3 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
① 楽器の響きに興味・関心を持ち、演奏する学習	① 楽器の音色や旋律の特徴を聴き取り、	① 楽器の音色に気を付け、それらが重なり合	① 旋律の反復や変化、演奏している楽器を聴

<p>に主体的に取り組もうとしている。(器楽)</p>	<p>その重なり合いによって生まれる響きのよさを感じ取りながら表現の工夫をし、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。 (器楽)</p>	<p>う響きを聴き合いながら、楽器の特徴を生かして合奏している。 (器楽)</p>	<p>き取り、構造を理解して聴いている。 (鑑賞) ② 音色や楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴いている。 (鑑賞) ③ 楽曲の特徴やオーケストラの響きのよさを聴きとり曲想を味わって聴いている。 (鑑賞)</p>
-----------------------------	---	---	---

#### 4 題材と指導の構想 (全6時間)

##### (1) 題材と児童

###### ① 児童について

これまでの音楽の授業を通して、音楽を聴いて感じたことを自分の言葉で表現することができるようになってきている。どんな感じがするか聴き取ったことを互いに伝え合うことを楽しんでいる様子である。また、経験が少なかつたため音楽づくりに対して抵抗があった児童も、自分の思いに合った音楽になるように工夫する姿が見られるようになってきている。

5月の「ラバースコンチェルト」の器楽の学習では、それぞれのパートの役割について考えた。2種類の演奏を比較聴取し、感じたことを自分たちの言葉で伝え、それぞれのパートの役割について気付く事ができた。演奏ではパートの役割を考えて、声を掛け合いなら演奏を工夫する姿が見られた。

和音の音を使っての旋律づくりでは、音の選択を考えたり、リズムを選んだりして、より気に入った旋律にするための工夫をすることができた。

鑑賞では、感じたことや気付いたことを言葉でどのように表現してよいか分からず、「楽しそう。」「明るい。」など、どの楽曲にも当てはまるような感想で終わってしまうことが多かった。5年生の「曲想を味わおう」では、楽曲のよさや面白さを音楽の要素に結び付けて聴く学習を行った。今回取り組む「いろいろな響きを味わおう」の「ボレロ」の鑑賞では、5年生の音楽の要素と結び付けて聴いた学習を生かし、楽器の音色やオーケストラの楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴くことができるようにしたい。

###### ② 題材について

本題材は、平成29年3月に告示された小学校学習指導要領の以下の点を受けて設定した。

##### 5 学年及び6 学年の内容

###### 【A表現】

###### (2) 器楽

ア 器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもつこと。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること

(ア) 曲想と音楽の構造との関わり

(イ) 多様な楽器の音色の響きと演奏の仕方との関わり

## 【B鑑賞】

(1) 鑑賞の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

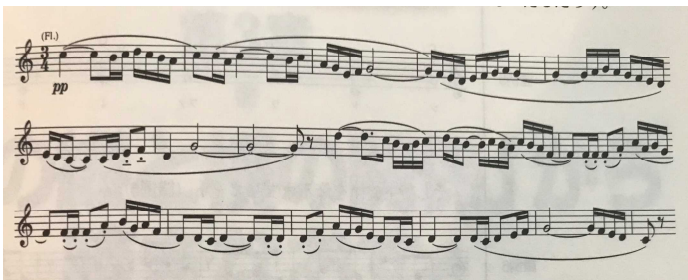
- ア 鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏のよさなどを見だし、曲全体を味わって聴くこと。
- イ 曲想及びその変化と、音楽の構造との関わりについて理解すること。

本題材では、楽器の音色や楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴いたり表現したりすることに焦点を当てて学習を進める。鑑賞を通して、音色やオーケストラの楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴く力を育てていく。また、器楽を通して、楽器の音色に気を付け、それらが重なり合う響きを聴き合いながら、楽器の特徴を生かして合奏できるようにする。

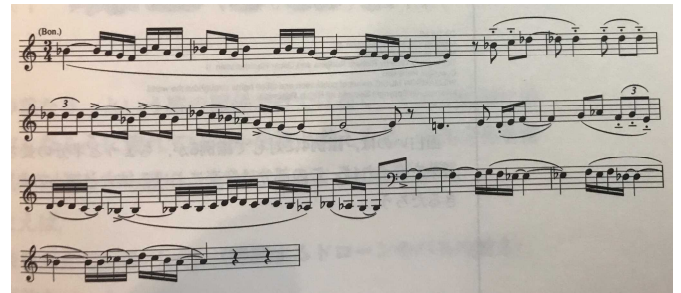
### 1次

鑑賞で取り扱う「ボレロ」(モーリス・ラヴェル作曲)は、バレエ音楽として作曲された曲である。2つの旋律主題(旋律主題Aと旋律主題B)を繰り返すことによって楽曲が構成されている。最初、小太鼓でボレロのリズムが刻まれる。その後、旋律主題が18回繰り返される。旋律主題Aが2回繰り返された後、旋律主題Bが2回繰り返される。この、「旋律主題A→旋律主題A→旋律主題B→旋律主題B」を4回繰り返した後、最後は「旋律主題A→旋律主題B」で曲が終わる。旋律主題の変奏や展開などは行われず、音色の変化と音量の増大だけに焦点が当てられてつくられている。そのため、音色の変化やオーケストラの楽器の組み合わせによる多彩な響きを捉えやすい曲である。

#### 主題A



#### 主題B



1次の第1時間目には、「ボレロ」を全体を通して聴く。どんな感じがしたか、感想を発表し合う。その後、ボレロのリズムをたたいてみたり、旋律主題Aと旋律主題Bがどのように繰り返されているか聴き取ったりする。第2時間目には、旋律主題A(主題1・主題9・主題13・主題17)を取り出して聴かせ、音色やオーケストラの楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴かせる。第3時間目は、曲全体を通して聴き、第2時間目に聴けなかった旋律主題Aや旋律主題Bの強弱の変化や、楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴く、という流れで学習を進める。

### 2次

器楽で取り扱う「コンドルは飛んで行く」(ダニエル・アロミアス・ロブレス作曲/橋本祥路編曲)は4つのパートに編曲されている。児童が各パートの楽器を選択し合奏することができる。それぞれのパートの旋律に特徴があり、楽器の特徴を生かして演奏したり、音の重なり合う響きを感じながら合奏することができる曲である。

## (2) 指導の構想

本題材は「いろいろな響きを味わおう」と題し、鑑賞と器楽の学習を通して、楽器の音色やオーケストラの楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴くことができるようにしていく。

### ① 学習カードの工夫をし、「ボレロ」の曲の構成を聴き取る。

第1時間目には、旋律主題Aと旋律主題Bがあることを知り、旋律主題Aと旋律主題Bがどのように現れるか聴きとる。その際、学習カードに聴き取ったことを記入していく。学習カードは、主題1

8までの表になっていて、旋律主題Aか旋律主題Bのどちらかを○で囲むことができる。聴き取った事を記入しやすいだけでなく、記入した後どのような構成になっているか分かりやすい学習カードになっている。

② 鑑賞曲「ボレロ」の18回繰り返す主題のうち、音色や楽器の組み合わせによる響きの違いが分かりやすい主題を取り上げて聴かせる。

1次の2時間目には、音色や楽器の組み合わせによる響きの違いを味わいながら聴かせる。18回繰り返す主題のうち、児童が違いを聴き取りやすいのが、主題1、主題9、主題13、主題17である。2時間目には、この主題4つを取り上げる。(いずれも旋律主題Aである。)

主題1 (A)	主題2 (A)	主題3 (B)	主題4 (B)	主題5 (A)	主題6 (A)
フルート	クラリネット	ファゴット	小クラリネット (E♭クラリネット)	オーボエ・ ダモーレ	フルート トランペット

主題7 (B)	主題8 (B)	主題9 (A)	主題10 (A)	主題11 (B)	主題12 (B)
テナー・ サクソフォーン	ソプラノ・ サクソフォーン	ピッコロ ホルン チェレスタ	木管楽器群	トロンボーン	木管楽器群

主題13 (A)	主題14 (A)	主題15 (B)	主題16 (B)	主題17 (A)	主題18 (B)
木管楽器群 ヴァイオリン	木管楽器群 ヴァイオリン	木管楽器群 トランペット ヴァイオリン	木管楽器群 トロンボーン 弦楽器群	木管楽器群 トランペット ヴァイオリン	木管楽器群 金管楽器群 ヴァイオリン

3時間目には、主題7、主題8、主題11、主題12に注目して聴かせる。(いずれも旋律主題Bである。) 楽器の組み合わせによる響きが特徴的な場所を取り上げて聴かせることにより、2時間目に学習した音色や楽器の組み合わせによる響きの違いの気付きを確かにする。

③ 感じたことを言葉で表したり、グループの友だちに伝えたりするための、学習カードや教具の工夫をする。

○ フィーリングシートについて

個人に1枚用意する。シートには、音色や楽器の組み合わせによる響きについて感じたことを表す言葉が書いてある。シートの言葉は、柔らかい、あやしい、落ち着いた、かるやかな、堂々とした等の言葉をのせておく。シートを使うことにより、言葉で表すことが苦手な児童も自分の思いを表すことができるようにする。

○ 交流ボードについて

グループで1つ用意する。個人で使ったフィーリングシートに色がついたものを4枚ボードに貼っておく。4枚貼っておくのは、主題1、主題9、主題13、主題17について感じたことを交流するためである。交流することで、自分が感じたことと同じように感じている児童がいることや違うように感じている児童がいることに気付かせたい。また、ボードの下部には、感じたことを自分の言葉で表現できるスペースを設ける。感じたことを自分のたちの言葉で表現させたい。交流ボードを使うことにより、グループでの交流をうまく進められるようにしたい。

○ オーケストラ楽器配置表について

グループに1枚オーケストラ楽器配置表を用意する。オーケストラ楽器配置表は、楽器の名前と写真が、オーケストラの配置と同じように書かれているものである。児童は、音楽を聴きながら、聴こえてきた楽器を○で囲む。写真があることで、どの楽器が演奏していたか想像しやすい。また、演奏映像を見た時に、どの位置でどの楽器が演奏していたかを目で見ても確かめることもできる。グループに1枚用意することで、グループの友だちと聴き取ったことを伝え合いながら学習を進めていけるようにしたい。

5 題材の指導計画（全6時間）

	学習のねらい（○）と主な学習内容	評価				
		関	創	技	鑑	評価規準
1次 楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わって聴こう。  (3時間)	○ 「ボレロ」を聴き、曲の感じや構成を理解する。 ・ 「ボレロ」を聴き、感想を発表し合う。 ・ ボレロのリズム打ちをする。 ・ 主題Aと主題Bがあることを知る。 ・ 主題Aと主題Bを歌う。 ・ 主題Aと主題Bがどのように現れるか聴き取る。				○	旋律の反復や変化、演奏している楽器を聴き取り、構造を理解して聴いている。 鑑賞①【振り返りへの記述】
	<b>【本時】</b> ○ 旋律主題A（主題1・主題9・主題13・主題17）を取り出して聴かせ、強弱の変化や、楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴く。 ・ 主題1・主題9・主題13・主題17を聴き、音色や響きについて感じたことを、フィーリングシートに書く。 ・ 気が付いたことをグループの友だちと伝え合う。 ・ 演奏している楽器を演奏映像で確かめる。				○	音色や楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴いている。 鑑②【振り返りへの記述・フィーリングシートの記述】
	○ 「ボレロ」の全体を聴き、強弱の変化や、楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴く。 ・ 「ボレロ」の全体を聴く。 ・ 前時に聴けなかった旋律主題Aや旋律主題Bに注目して聴く。 ・ 「ボレロ」の人気の秘密を自分なりにまとめる。				○	曲の特徴やオーケストラの響きのよさを聴きとり曲想を味わって聴いている。 鑑③【振り返りへの記述】

<p>2次</p> <p>楽器の特徴を生かして、全体の響きを味わって演奏しよう。</p>	<p>○ 「コンドルは飛んでいく」を聴き、曲の特徴をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気付いたことや、感じたことを話し合う。</li> <li>・ 気付いたことと楽譜を照らし合わせて確認する。</li> <li>・ パートの構成や旋律の特徴について楽譜で確かめ、パートの役割について考える。</li> <li>・ グループで楽器の組み合わせを考える。</li> </ul>	○			<p>楽器の響きに興味・関心をもち、演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>関①【行動観察・振り返りへの記述】</p>
<p>(3時間)</p>	<p>○ グループで全体のバランスを工夫して演奏する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 互いの演奏を聴き合いながら、音量のバランスや演奏の仕方を工夫する。</li> <li>・ 主旋律と他のパートのバランスに気を付けながら合奏する。</li> <li>・ 気付いたことを話し合う。</li> </ul>	○			<p>楽器の音色や旋律の特徴を聴き取り、その重なり合いによって生まれる響きのよさを感じ取りながら表現の工夫をし、どのように演奏するかについて自分の思いや意図をもっている。</p> <p>創①【行動観察・振り返りへの記述】</p>
	<p>○ グループごとに発表し、響きの違いを楽しんで聴き合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音が重なり合う響きや音量のバランスに気を付け、演奏の仕方を工夫する。</li> <li>・ グループごとに演奏を発表する。</li> <li>・ 互いに聴き合いながら、響きの違いを楽しむ。</li> </ul>			○	<p>楽器の音色に気を付け、それらが重なり合う響きを聴き合いながら、楽器の特徴を生かして合奏している。</p> <p>技①【演奏聴取】</p>

## 6 本時の計画（2時間目／全6時間）

### (1) 本時のねらい

ボレロの主題の楽器の音色や楽器の組み合わせによる響きの違いについて、取り出した旋律主題Aを比較しながら聴いたり、感じたことを交流したりする活動を通して、音色や響きの変化を味わいながら聴くことができる。

### (2) 本時の構想

前時では、「ボレロ」の全体を聴き、感想を発表し合っている。その後、「ボレロ」のリズムをたたいてみたり、旋律主題Aと旋律主題Bを歌ったりしている。旋律主題Aと旋律主題Bに親しんだ後、旋律主題Aと旋律主題Bがどのように現れるかを聴き取っている。児童は、旋律主題Aと旋律主題Bを2回ずつ交互に延々と繰り返すことや、主題が18回も続くことを知り、「2つの旋律主題を繰り返すだけなのに、なぜ人気がある曲なのだろう。」や「人気の秘密は何だろう。」という疑問をもっている。

本時は、児童の「ボレロの人気の秘密は何だろう。」という疑問を広げ、「どんな工夫がされているかな。」と投げかける。児童は、曲が進むにつれ音が大きくなっていることから、演奏する楽器が変わっていることや、強弱や音色が関係しているのではないかと予想を立てるだろう。強弱については、ど

の子も曲を聴きすぐに気付くことができるため、人気の秘密の1つ目とする。本時では、児童の予想した音色や楽器が変化していく事に焦点をあて学習を進めていく。そこで、「ボレロの人気の秘密を探ろう！旋律を演奏している楽器の音色はどのように変化していくのかな。」という学習課題へと繋げていく。

### 【手立て1】

旋律主題A（18主題ある中の、主題1・主題9・主題13・主題17を使用する。）を取り出して聴かせ、音色や楽器の組み合わせによる響きの違いに気付かせる。

本時では、18主題ある中の、主題1、主題9、主題13、主題17を取り出して聴かせる。すべて旋律主題Aである。取り出して聴かせる4つの主題は、音色の変化や、楽器の組み合わせによる響きの違いを感じ取りやすい場所である。取り出して比較しながら聴かせることにより、違いが一層分かりやすくなる。音源は、フランス国立管弦楽団演奏（エリアフ・インバル指揮）を使用する。この音源は、冒頭の小太鼓のリズムの後のフルート演奏から、最後の主題18までの間の強弱の変化がよく分かる演奏になっている。また、音色や楽器の組み合わせによる響きの違いを聴き取りやすい。強弱や音色や楽器の組み合わせによる響きに着目させながら、聴かせていきたい。

### 【手立て2】

音色や楽器の組み合わせによる響きについて、自分の感じたことを言葉に表せるようにワークシートの工夫をしたり、グループの友達と感じたことを伝え合うための教具の工夫をしたりして、感じたことを共有できるようにする。

4つの主題の比較聴取の際には、自分の感じたことをフィーリングシート（感じたことを表す言葉が書いてあるシート）に記入させる。自分の感じたことをしっかりと表すことができるように、児童一人に1枚配付し、音色や楽器の組み合わせによる響きについて自分が感じたことに合う言葉を選んで印を付けさせる。シートの言葉は、柔らかい、あやしい、落ち着いた、かろやかな、堂々とした等の言葉をのせておく。その後、「交流ボード」（ホワイトボードに色付きのフィーリングシートが4枚貼ってあるもの）を利用し、グループの友達と自分の考えを伝え合う。自分の感じたことを他の児童も感じていることや、違う感じ方をしている児童の意見を聞くことで、音色や楽器の組み合わせによる響きの違いについて、理解を深めるようにしていきたい。また、交流ボードに感じたことを自分の言葉で書くスペースを設ける。自分の言葉で表現することも大切にしていきたい。



### 【手立て3】

演奏映像を見ることを通して、どの楽器が演奏しているのか確かめ、音色や楽器の組み合わせによる響きの気付きを確かにする。

どの楽器が演奏しているのかを聴き取ることが難しい児童もいる。そこで、演奏映像を見ながらグループでオーケストラ楽器配置表（オーケストラ配置図に楽器の名前と写真が書いてある表）に演奏している楽器を囲む。音色が変化していることは感じられても何の楽器で演奏しているのか分からない子も、映像を見ることで何の楽器で演奏しているのか分かる。また、演奏している様子や、演奏している人数からも、だんだんと勢いが増し、クライマックスに向かっている様子をつかませたい。



(3) 本時の展開

学習活動	教師の働きかけと予想される児童の反応	■評価 ○留意点
<p>導入</p> <p>1 前時の学習を振り返り、音色はどのように変化していきだろうかという学習課題を確認する。</p> <p>(5分)</p>	<p>T 1 前の時間に「ボレロ」は主題を18回も繰り返していることが分かりました。旋律主題Aと旋律主題Bをどのように繰り返すかも聴き取りましたね。</p> <p>C 1 旋律主題Aと旋律主題Bが2回ずつ交互に繰り返されていた。</p> <p>C 2 主題の17回目と18回目は、旋律主題Aと旋律主題Bが1回ずつ交互に演奏されていたよ。</p> <p>T 2 そうでしたね。旋律主題Aと旋律主題Bを延々と繰り返すだけなのに、なんで人気がある曲なのだろう、という意見が聴かれました。今日は、ボレロの人気の秘密を探るんですね。</p> <p>C 3 はい。</p> <p>T 3 ボレロには、ただ同じ旋律を繰り返しているだけのように思えますが、きっと工夫があるはずですよね。どんな工夫があると思いますか？</p> <p>C 4 強弱を付けてると思う。</p> <p>C 5 だって最初小さかったのに、最後はとても大きな音になったから。</p> <p>C 6 最初の小太鼓も、フルートも耳を澄ませないと聴こえなかった。</p> <p>T 4 たしかに、どんどん大きくなっていましたね。強弱は秘密の1つですね。</p> <p>C 7 演奏する楽器を変えていると思う。</p> <p>C 8 途中で、音がぼわーんみたいな感じの音に変わった。</p> <p>T 5 なるほど、音色にも秘密がありそうなんです。では、今日の学習課題は、「ボレロの人気の秘密を探ろう！旋律を演奏している楽器の音色はどのように変化していくのかな。」でいいですか。</p> <p>C 9 はい。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【学習課題】</b></p> <p>ボレロの人気の秘密を探ろう！</p> <p>旋律を演奏している楽器の音色はどのように変化していくのかな。</p> </div>	<p>○AとBの旋律を拡大した楽譜を掲示しておく。</p> <p>○楽器カード（楽器の絵と名前が書かれたもの）を掲示しておく。</p> <p>○前時に学習した、ボレロの構成図を掲示しておく。</p> <p>○同じ旋律を繰り返すだけなのに人気がある曲なのはなぜだろうという児童の意見から、予想を立てさせ、学習課題へ繋げていく。</p>
<p>展開</p> <p>2 主題1, 主題9,</p>	<p>T 6 では、主題1と主題9と主題13と主題17を聴いてみましょう。聴きながら、音色について</p>	<p>○4つの主題を聴かせる時には、構成図を指で</p>



<p>主題 1 4, 主題 1 7 の演奏を聴き、聴き取った音色について伝え合う。 (25分) 【手立て 1】 【手立て 2】</p>	<p>自分が感じたことに合う言葉を囲みましょう。 (主題 1, 主題 9, 主題 1 3, 主題 1 7 の順に区切りながら聴かせる。)</p> <p>T 7 4 つの主題を聴いて音色はどんな感じがしましたか? グループで交流ボードを使って自分の感じたことを紹介しましょう。もしも、オリジナルの言葉があるグループは、ボードに書いてください。 (グループで交流する。)</p> <p>T 8 では、グループで話したことを教えて下さい。</p> <p>C 10 主題 1 は、優しい感じがしました。</p> <p>C 11 主題 1 は、消え入りそうな、というのがピツタリだと思いました。</p> <p>C 12 主題 9 は、柔らかい感じがしました。</p> <p>C 13 主題 1 3 は、優雅な感じがしました。</p> <p>C 14 主題 1 3 は、上品な感じもしました。</p> <p>C 15 主題 1 7 は、堂々とした感じでした。</p> <p>C 16 主題 1 7 は、力強い感じがしました。</p> <p>T 9 なるほど、それぞれの主題で音色が違っていたのですね。何の楽器が演奏していたのかわかりましたか?</p> <p>C 17 ヴァイオリンが聴こえてきたけど・・・</p> <p>C 18 なんかいろいろな楽器が聴こえてきたけど・・・よくわからないなあ。</p>	<p>示し、主題の何番目を聴くのか分かるようにする。</p> <p>○フィーリングシートを一人 1 枚配る。自分の感じたことに当てはまる言葉を丸で囲む。</p> <p>○交流ボードを使ってグループの友だちと交流する。</p>
<p>3 演奏映像を見て、演奏している楽器を確かめる。 (5分) 【手立て 3】</p>	<p>T 10 では、今度は演奏映像を見ながら聴いてみましょう。グループに 1 枚楽器配置表を配ります。聴こえてきた楽器や、目で見て分かった楽器に丸で囲みましょう。 (主題 1, 主題 9, 主題 1 3, 主題 1 7 の演奏映像を見る。)</p> <p>C 19 主題 1 はフルートだね。</p> <p>C 20 主題 9 は、ホルンにピッコロだ。</p> <p>C 21 あのピアノみたいな楽器はチェレスタっていうんだね。</p> <p>C 22 主題 1 3 は木管楽器と、やっぱりヴァイオリンだ。</p> <p>C 23 主題 1 7 は、すごいよ。ほとんどの楽器が演奏している。</p> <p>C 24 木管楽器に、トランペットに、ヴァイオリンもだね。</p> <p>T 11 皆さんよく分かりましたね。いろいろな楽器が演奏していて、同じ旋律でも楽器が違うことにより違った響きがきこえてきたのですね。今日</p>	<p>○グループにオーケストラ楽器配置表を 1 セット配付する。聴き取った楽器を丸で囲むことで、楽器が変わると音色や響きが変わることを意識させる。</p>

	<p>は、4つの主題を聴いたので、他の主題は聴きませんでした。他の主題はどうなっていると思いますか？</p> <p>C 25 たぶん、演奏している楽器が違うと思う。</p> <p>C 26 楽器が違うから感じも違うと思う。</p> <p>T 12 そうなんです。どの主題も演奏している楽器の組み合わせが違うのです。このような楽器で演奏しています。</p> <p>(主題ごとに演奏している楽器が分かるようにまとめた表を見せる。)</p> <p>C 27 すごい！</p> <p>C 28 みんな違う！</p> <p>C 29 18回とも違う！</p> <p>T 13 なので聴いた感じもみんな違うのです。</p>	
<p>4 まとめをする。 (5分)</p>	<p>T 14 「ボレロ」の人気の秘密が分かりましたか？旋律を演奏している楽器の音色がどのように変化していったのか分かりましたか。</p> <p>C 30 どんどん大きくなっていった。</p> <p>C 31 音色は、柔らかくなったり力強くなったりした。</p> <p>C 32 演奏する楽器が変わると響きも変わった。</p> <p>C 33 演奏する組み合わせが違っていると、違う感じがした。</p> <p>T 15 では、今日の学習のまとめをしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p><b>【まとめ】</b> ボレロの人気の秘密は ↓ 主題ごとに演奏している楽器の組み合わせが変わっている。 ↓ 音色や楽器の組み合わせによる響きが違う。 (やさしい感じ・柔らかい感じ・優雅な感じ・力強い感じ)</p> </div>	<p>○児童の意見を聞きながら、変化や楽器の組み合わせによる響きの違いに分けてまとめをしていく。</p>
<p>5 振り返りをする。 (5分)</p>	<p>T 16 今日の学習の振り返りをしましょう。4つの主題の中で、印象的だったところを2つ選びましょう。選んだ2つの主題について、どのように感じたか自分の言葉でもう一度書きましょう。</p> <p>C 34 主題1と主題13が印象に残りました。主題1は、とても小さい音で消え入りそうな感じがしました。主題13は、ヴァイオリンが加わって優雅な感じがしました。</p>	<p>■音色や楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴いている。</p> <p>鑑②(振り返りへの記述)</p>

	<p>C 35 主題 9 と主題 1 7 が印象に残りました。主題 9 は、柔らかい感じや楽しい感じがしました。主題 1 7 は曲の終わりの方なので、とても力強く盛り上がる感じがしました。</p>	
--	--	--

#### (4) 本時の評価

評価方法：振り返りへの記述とフィーリングシートの両方で評価する。

評価規準：音色や楽器の組み合わせによる多彩な響きを味わいながら聴いている。

B 評価の具体的な姿：次の 2 つを満たしている。

- ・フィーリングシートに、音色について感じたことを表す言葉を囲んでいる。
- ・振り返りに、2 つの主題についてどのような感じがしたか自分の言葉で書いてある。

(例) ・主題 1 と主題 1 3 が印象に残りました。主題 1 は、とても小さい音で消え入りそうな感じがしました。主題 1 3 は、ヴァイオリンが加わって優雅な感じがしました。

- ・主題 9 と主題 1 7 が印象に残りました。主題 9 は、柔らかい感じや楽しい感じがしました。主題 1 7 は曲の終わりの方なので、とても力強く盛り上がる感じがしました。

#### (5) 板書計画 (別紙)

## 7 参考文献

- ・『評価基準の作成，評価方法の工夫改善のための参考資料』【小学校 音楽】平成 2 5 年 9 月  
国立教育政策研究所教育課程センター
- ・『鑑賞の授業づくりアイデア集』平成 2 1 年 (音楽之友社)

板書計画

教室左側黒板

ボレロ

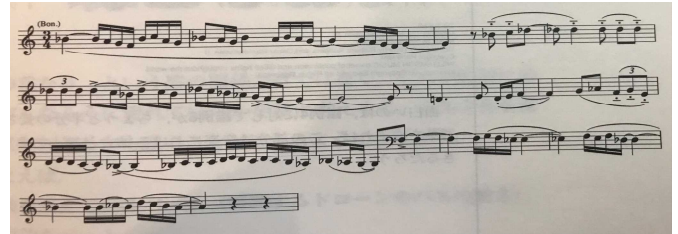
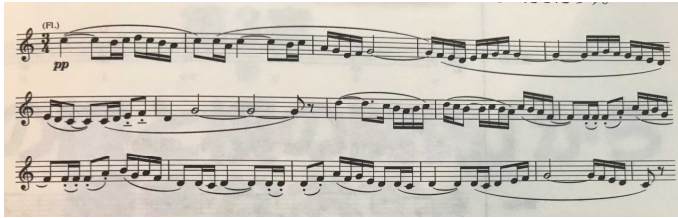
主題

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18

A → A → B → B → A → A → B → B → A → A → B → B → A → A → B → B → A → B

あきてしまう

主題が18回繰り返される



教室中央黒板

【学習課題】 ボレロの人気の秘密を探ろう！  
旋律を演奏している楽器の音色はどのように変化していくのかな。

強弱

音色

楽器

主題 1

- ・かすかな
- ・よわよわしい
- ・優しい

楽器の写真

主題 9

- ・やわらかい
- ・おだやかな

楽器の写真

主題 1 3

- ・上品な
- ・優雅な

楽器の写真

主題 1 7

- ・力強い
- ・堂々とした

楽器の写真

【まとめ】

ボレロの人気の秘密は

↓

主題ごとに演奏している楽器の組み合わせが変わっている。

↓

音色や楽器の組み合わせによる響きが違う。

- （やさしい感じ・あやしい感じ
- ・上品な感じ・力強い感じ）

4つの主題の中で、印象的だったところを2つ選びましょう。選んだ2つの主題について、どのように感じたか自分の言葉でもう一度書きましょう。